
運動器疼痛リサーチ&マネジメント学演習

橋 爪 洋 教授

Seminar: Research and Management for Musculoskeletal Pain

寺 口 真 年 講師

1 年次後期・選択

2 単位・60 時間

【概要・目標】

(概要と目標)

運動器疼痛リサーチ&マネジメント学特論で学んだ知識をもとに、リサーチクエスチョンを作成し、ブラッシュアップし、実行するために必要な方法論を身につける。

【授業内容・スケジュール】

運動器疼痛リサーチ&マネジメント学特論で学んだ内容について、先行論文に関し検証し、自らの研究テーマの探索・設定を行う。(授業はすべて演習形式とする) 担当: 橋爪、寺口

【評価】発表 (40%)・レポート (40%)・受講態度 (20%)

【教科書】必要に応じて提示する。

【推薦参考図書】

- 1) 福原俊一著: 臨床研究の道標 (みちしるべ) 第2版 7つのステップで学ぶ研究デザイン 上・下巻、健康医療評価研究機構、2017
 - 2) 福原俊一著: リサーチ・クエスチョンの作り方 第3版 (臨床家のための臨床研究デザイン塾テキスト)、健康医療評価研究機構、2015
 - 3) 竹上未紗・福原俊一著: 誰も教えてくれなかった QOL 活用法 第2版-測定結果を研究・診療・政策につなげる SF-36 活用編、健康医療評価研究機構、2012
 - 4) 日本整形外科学会・日本腰痛学会監修: 腰痛診療ガイドライン 2019、南江堂、2019
 - 5) 日本整形外科学会・日本脊椎脊髄病学会診断評価等基準委員会編: JOABPEQ、JOACMEQ マニュアル、2012
-

【その他】

連絡先: hashizum@wakayama-med.ac.jp

演習は学生を主体とするプレゼンテーション及びディスカッションを行う